

音楽のテンポと人間の行動

宮城県仙台第三高等学校 普通科SS探究Ⅰ F4班

1. 序論

Q. スーパーで音楽が流れているのはなぜか？

<先行研究>

① 早いテンポの曲

交感神経を刺激

興奮状態に

商品への興奮と錯覚

② 遅いテンポの曲

副交感神経を刺激

リラックス

滞在時間長くなる

手に取る商品多くなる

A. 衝動買いを促す

研究の目的

テンポの違いによる購買行動への影響力の強さを解明し、より売り上げにつながるマーケティング方法を探る。

2. 実験方法

● 30秒チャレンジ

<実験内容>

- ① 何も聞かせない
- ② BPM120のメトロノームを聞かせる
- ③ BPM40のメトロノームを聞かせる

上記の3種類の実験を行う

→30秒経過したと思った時点で挙手してもらう

<被験者について>

- ・ 高校二年生の男女各15人ずつの計30人
- * 音楽経験の有無は調査せず

<曲の例>

BPM120・・・崖の上のポニョ (BPM 118)

BPM40・・・四季：冬、第2楽章 (BPM 37)

【基準テンポの定義】

BPM90以上を
早いテンポ、
BPM70以下を
遅いテンポと
定義
(先行研究より)

BPM80
を基準
とする

BPM120

+50%

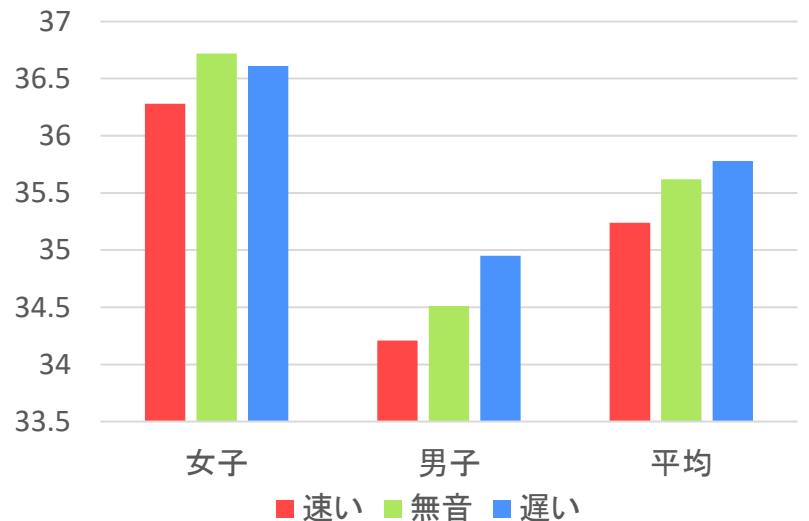
BPM80

-50%

BPM40

3. 結果

● 30秒チャレンジ



予想：早いテンポに影響されやすい

結果：

	早い	無音	遅い
女子	-0.44	0	-0.11
男子	-0.30	0	+0.44

考察：女子は早いテンポによる影響が大きい
男子は遅いテンポによる影響が大きい

どちらのテンポの曲を流しても衝動買いを促すのではないか

4. 結論

男女で影響を受けるテンポが異なる

時間帯によってテンポの異なる曲を使い分けるとよい

ex. 女性客が多いとき
早いテンポの曲を流す

ex. 男性客が多いとき
遅いテンポの曲を流す

今後の展望

- ・ 年齢・国籍による違い
- ・ スーパー以外での音楽の活用
- ・ 音楽経験の有無による結果の違い

参考文献

・ 背景音のテンポが行動ペースに与える効果. 栗林龍馬, 入野野宏. 広島大学大学院総合科学研究科紀要. I, 人間科学研究 (9), 17-29, 2014-12-31

・ 環境音のリズムが体感時間に与える影響. 平成29年度電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会講演論文集p142